

総務委員長報告

令和8年3月16日（月）

令和8年 第2回定例会

総務委員会に審査付託された議案について、3月10日、11日の2日間にわたり委員会を開催し、それぞれ慎重に審査を行いましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

はじめに、議案第13号「岡谷市総合計画の策定に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、

委員より、条例改正の時期について質疑があり、この条例が制定されてから10年が経つが、第5次岡谷市総合計画前期基本計画の策定と後期基本計画の策定の際は、策定途中で委員の任期が満了となることはなかったが、第6次岡谷市総合計画の策定の際は、策定中に委員の任期が満了となることから、策定を円滑に進めるため、この時期に条例改正をする、とのことであります。

以上、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第15号「岡谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第16号「岡谷市職員の旅費等に関する条例及び地方自治法等の規定により出頭した関係人等の実費弁償等に関する条例の一部を改正する条例」につきましては、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第22号「岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例」につきましては、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第25号「令和8年度 岡谷市一般会計予算」中、総務委員会に審査付託された部分について、審査の主な点をご報告いたします。

はじめに、歳出について各担当の主要事業及び、執行体制の主な点について、説明がありました。

まず、企画政策部においては、令和8年度は、第5次岡谷市総合計画後期基本計画の3年目となることから、これまでの取り組みを継続しつつ、デジタル

技術の活用や必要な改革を実行し、基本目標の達成に向けて着実に前進できるよう、各種の施策・事業を積極的かつ効果的に進めるため、庁内部署の総合調整を図ってまいりたい、とのことであります。

主な事業としては、各区の活動拠点である公会所の新築工事の費用の一部を補助するための「各区公会所等建設事業」、市と区の協働体制を円滑化し、まちづくりを推進するための「行政事務交付金」、企業等のPRや地域貢献とする機会の提供と施設等における安定的な維持管理及び市民サービスの向上を図るための「ネーミングライツ推進事業」、さらに地方税以外を含むe L-Q Rによる公金収納に対応するためのシステム改修や自治体DXの一層の推進を図るとともに、ふるさと寄附金寄附促進事業や地域おこし協力隊と移住定住に係る各種施策の企画運営とシティプロモーションにより岡谷市の知名度向上を図ってまいりたい。また、「マウント・プレザント市姉妹都市提携60周年記念事業」として、同市を訪問して、両市の友好親善をさらに深めてまいりたい、とのことであります。

次に、総務部においては、まず、予算担当部署として、予算全体の概要について説明があり、重点施策として「子育てしやすい環境の実現」、「安全・安心の伸展」、「未来に向けた産業の充実」、「魅力発信と賑わいの創出」の4つを掲げ、限られた財源を効率的かつ効果的に配分し、持続可能なまちづくりを進めるため、予算編成を行った、とのことであります。

主な事業としては、「大規模地震対策強化事業」として、大規模地震発生リスクを踏まえ、長野県地震防災対策強化アクションプラン等に基づき、災害時及び避難所開設の初期対応に必要な防災備蓄の整備・充実を図るとともに、地域の備蓄推進と防災人材育成を進めてまいりたい、とのことであります。税務関係では、令和9年度の固定資産税の評価替えに向けて、標準宅地の不動産鑑定や路線価公開用図面などの業務委託を行う。また、消防関係では、消防団員の安全確保、技能向上、団員の恒常的な確保を図るとともに、準中型自動車運転免許取得について費用の一部を助成し、消防力の強化を図ってまいりたい、とのことであります。

次に、教育部においては、「第5次岡谷市総合計画」及び、「第3期岡谷市教育大綱」に掲げた理念の実現をめざして、教育関係の個別計画に基づき、各種施策を推進していく。組織関係では、市立岡谷美術考古館の管理運営について、新たに指定管理者制度を導入することに伴い、施設を所管する生涯学習課内の担当の廃止、改編をする、とのことであります。

主な事業としては、不登校児童生徒の心と学びの拠り所となるよう国、県の補助を得ながら、市内4中学校と長地小学校の校内教育支援センターに支援員

を配置するとともに、神明小学校に配置される県の不登校支援職員が、不登校児童生徒等への相談や学習支援などを行う「校内教育支援センター設置事業」、中学校の心の教室を小学校にも設置し、中学校に配置した相談員がサテライト型により、小学校において児童の相談に応じる「心の教室相談室設置事業」に取り組むほか、県の認証を受けたフリースクール等を利用する、要保護及び準要保護の家庭の保護者が負担した施設利用料の一部を補助し、子育て家庭の経済的支援を行う「多様な学び利用者支援事業」を新規事業として実施してまいりたい。また、物価高騰により食材費の値上げが続く学校給食の質と量を確保し、保護者の経済的負担を軽減するため、小学校の給食費は国が新設する交付金を活用し、給食費との差額分を全額公費負担することにより、完全無償化を実現することに加え、中学校の給食費についても給食費の3割を公費負担とする「学校給食費保護者負担軽減事業」を実施してまいりたい、とのことであります。

生涯学習関係では、市立岡谷美術考古館の運営体制の強化や民間手法と専門性を生かした事業展開、質の高いサービスを提供するため、新たに指定管理者制度を導入し、公益財団法人おかや文化振興事業団に管理運営を移行する、とのことであります。

スポーツ振興の取り組みでは、相互連携協定を締結したVC長野トライデンツと連携し、市民の体力向上への意識やスポーツへの関心を高める事業を展開する「トップアスリートとの連携促進事業」、全国巡回ラジオ体操を招致し、ひとり1スポーツの実現とラジオ体操を通じて本市を全国にPRする機会として「巡回ラジオ体操・みんなのラジオ体操会事業」を新規事業として実施してまいりたい、とのことであります。

次に各款ごとに審査の主な内容について報告いたします。

はじめに、歳出 2款 総務費 について、

まず、「庁舎管理費」について

委員より「市役所庁舎照明設備LED化等更新事業」の工期及び効果について質疑があり、

令和5年度から4箇年計画で市役所庁舎照明設備のLED化を行っており、令和8年度は5階・地下・車両棟等の照明器具の更新を行い令和8年度で完了する。全ての更新が完了すると照明に関する消費電力について約70%の削減効果が見込まれる、とのことであります。

「行政管理費」について、

委員より、ネーミングライツ推進事業の対象施設や周知方法について質疑が

あり、

対象施設は、学校、保育園など公平性が高い施設を除く市が所有する施設で、市のホームページや報道機関で周知するほか、企業と繋がりのある関係各課などを通じて、制度の理解と周知を図っていく。企業側からの提案型を想定しており、企業側から出された提案を受け、市民理解の状況等を踏まえ、総合的に判断してまいりたい、とのことであります。

次に、「DX推進費」について

委員より、「自治体DX推進事業」の生成AI導入実証事業の概要について質疑があり、

職員が安全かつ安心して活用できる環境を構築した上で、生成AIを試行導入するが、議事録の要約、あいさつ文の作成などに活用し、職員のスキルアップを図っていききたい。また、1,000アカウントまで無償で提供されるため、すべての正規職員が利用することができる。まずは、生成AIに慣れ、使い方を学び、研修を重ねながら活用の幅を広げていききたいと考えている、とのことであります。

次に、「地域創生推進費」について

委員より「移住定住促進事業」に関する、移住者の定着率について質疑があり、

移住支援金の支給は、就労等の条件はあるが居住期間の条件は設けていないため、定着率について把握はしていないが、定着に向けて移住者同志の交流会「オカヤトークの会」を開催し、先輩移住者からのアドバイスや定住に関する不安を解消することで、長期的な定住の促進に繋げてまいりたい、とのことであります。

次に、「災害対策費」について

「大規模地震対策強化事業」について、委員より、具体的な備蓄内容等について質疑があり、

この事業は令和7年度からの継続事業で、長野県地震防災対策強化アクションプラン等に基づき、防災備蓄の整備、充実を図っているが、今回の備蓄の主な内容は、乳幼児用の粉ミルク、大人用・子ども用のおむつや、生理用品、携帯簡易トイレ、段ボールベッドなどを備蓄していく。段ボールベッドについては、令和8年度は30台購入予定である。

また、これらの防災備蓄品を納めた倉庫は市内に18か所あり、計画的に整備を進めている、とのことであります。

次に、9款 消防費について、

まず「非常備消防費」について、

委員より、「消防団活動事業費」の消防ポンプ車の消耗品整備について、また、委員より、消防団車両更新事業の今後のスケジュールについて質疑があり、

消防ポンプ車のスタッドレスタイヤやバッテリー等の消耗品の更新時期は、車検、点検等を行う中で消耗状況を見極め、緊急性に応じて優先順位をつけながら整備していく。

また、消防団ポンプ車は概ね30年で更新するが、令和8年度、9年度は該当車両がないため更新はない。今後の予定としては、第1分団、第2分団、第5分団、第8分団、第10分団を予定している、とのことであります。

さらに委員より、消火ホースの更新時期について質疑があり、

消火活動に使う消火ホース等の消耗品の更新は、各分団の状況を調査した上で、分団長が集まる消防団会議において、消防団と検討しながら更新をしていく、とのことであります。

次に、10款 教育費について、

まず「事務局費」について、

委員より、「おかやのまちじゅう学園化推進事業（ウェルビーイング実践校 TOCO-TON）」の具体的な取り組みについて質疑があり、

この事業は、令和7年度から始まった事業で、学校だけでは対応が難しい時代の変化や児童生徒数の多様化といった教育課題の解決を目指して、県から派遣された指導主事を中心に取り組みを進めている。この構想は、自ら疑問をとことん追求できる学校づくりを目指している。具体的には、岡谷市として5つの柱を中心に組み立てており、小中学校の学校群化、小中一貫教育の基盤作り、新たなコミュニティ・スクールへの移行、訪問型交流、ネットワーク型交流の推進などに取り組む。予算については、小学校の学年別交流を図るためのバスの借り上げ料を計上している、とのことであります。

さらに委員より、岡谷市これからの学校づくり懇話会について質疑があり、

少子化における児童生徒の教育環境の充実に向け、懇話会を設けていきたい、とのことであります。

次に、委員より、「教員働き方改革推進事業」の進め方について質疑があり、

先生方の長時間勤務の是正が大きな課題となる中で、令和11年度までに長時間勤務を月平均30時間以下とする目標に近づけるよう、業務等の見直しを行うなど、学校と連携して取り組みたい、とのことであります。

次に、「小学校費・学校管理費」について、

委員より、「修繕費」の各校の対応状況について質疑があり、

この修繕費は、各小学校の小破修繕、日常的な修繕に対応する費用となっており、優先順位を付けて対応している、とのことであります。

さらに委員より、予算が足りなくて修繕を先送りしていないかとの質疑があり、

外壁や屋根の雨漏りといった金額の大きな修繕については、子どもの安全に対して緊急性を判断し、財政当局と相談をしながら別途予算措置をして対応している、とのことであります。

次に、委員より、「学校給食費保護者負担軽減事業（小学校無償化事業）」の養護学校等に通う方への支援について質疑があり、

養護学校は県立のため、小学部に通う児童については県が全額負担して無償化を実現していく、とのことであります。

次に、「中学校費・学校管理費」について、

委員より、「学校給食費保護者負担軽減事業」の保護者が負担する給食費について質疑があり、

令和8年度中学校給食費が1食あたり420円、公費負担3割の130円を差し引くと、保護者負担は1食あたり290円となる、とのことであります。

次に、「美術考古館費」について、

委員より、「市立岡谷美術考古館管理委託」で、まちの活性化とイルフ童画館との連携について質疑があり、

公益財団法人おかや文化振興事業団では、イルフ童画館の指定管理者も行っていることから、繋がりのある事業展開により人の回遊性をつくりながら、まちなかの賑わい創出につなげていく。また、学芸員の連携も一層強化されることから、繋がりのある企画展も計画されるものと考えている、とのことであります。

次に、「生涯学習活動センター費」について、

委員より、「リーダーズ倶楽部活動育成事業負担金」について質疑があり、

この負担金は、リーダーズ倶楽部の活動をするにあたり、OB・OGの協力をいただきながら育成に力を入れるため、従来の輝けおかやっ子GOGOチャレンジ事業負担金とリーダーズ倶楽部活動事業負担金の2つの負担金を統合した、とのことであります。

次に、「図書館費」について

委員より、「デジとしょ信州活用推進事業」の利用促進と登録者を増やす取り組みについて質疑があり、

令和4年8月からスタートし、令和8年1月末現在の登録者数は387人と登録者数は伸び悩んでいる。しかしながら、昨年NHK「あさイチ」の番組で取り上げられた際には、新規登録者がかなり増えた。また、利用促進の周知方法としては、窓口やホームページ、シルキーチャンネルでの案内のほか、高齢者の利用促進に向けた講座の開催や、中高生の利用促進に向け、周知を行ってまいりたい、とのことであります。

次に、「市史編さん費」について、

委員より、「岡谷市史編さん事業」の取り組みについて質疑があり、

令和7年度は、市史編さん事業について、市史編さん室だより「覧古考新」により市民に周知するとともに資料収集、整理を行うほか、編さん事業の基本方針の決定や業務委託先の選定を行った。また、令和8年度は、業者による編さん事業をスタートさせ、市史編さん委員会で、工程や全体構成、目次、執筆要領などについて協議を行い、令和12年度の完成に向けて取り組んでいく、とのことであります。

次に、「スポーツ振興費」について、

委員より、「巡回ラジオ体操・みんなのラジオ体操会」への、市民の参加者数と広報効果について質疑があり、

この事業は、参加者の想定としては700人程度を見込んでいる。事前申し込みではないため、周知の方法としては広報おかややホームページ、幼稚園・保育園、小中学生にはすぐーるによる配信、スポーツ協会やスポーツ少年団への呼びかけ、スポーツ推進員による地域への周知を図る、とのことであります。

PR効果としては、NHKラジオ体操は生放送で10分間ある。その中で、岡谷市のPR文を読むようになっていることから、日本全国で放送されるので、岡谷市のPRに繋がる、とのことであります。

さらに委員より、開催時期について質疑があり、

2月下旬に決定通知があり、令和8年8月19日水曜日に決まった、とのことであります。

次に、歳入について、審査の状況を報告いたします。

まず、「市たばこ税」について、

委員より、喫煙者が減少する中で、前年度比1,800万円増で予算計上した理由について質疑があり、

喫煙者も減少しているが、国による加熱式たばこに係る課税方式の見直しにより、加熱式たばこについて、「重量」と「価格」に応じて紙巻たばこの本数に

換算する現行の課税方式から、「重量」のみで換算する方式に見直しされることにより増額を見込んでいる、とのことであります。

次に、「地方交付税」について、

委員より、53億6,000万円の計上で、前年度比、3億3,500万円の増になった要因について質疑があり、

令和8年度普通交付税が44億8,000万円の計上で、前年度比2億3,500万円の増である。また、特別交付税については、8億8,000万円の計上で、1億円の増となっている。地方交付税については、国が定めている地方財政計画の中で、6.5%の増とされていることから、交付税が増えると試算している、とのことであります。

さらに委員より、地方交付税の今後の見通しについて質疑があり、

地方交付税を算定する際には、市税収入のほか、国勢調査による人口も算定数値に大きく影響する。人口減少は全国的なもので、高齢化による社会保障関係経費も増加し現時点で物価高騰も続いている状況からすると、基準財政需要額は増加する。収入額が減って需要額が増えることは、交付額は一定程度確保されると見込んでいる、とのことであります。

次に討論について報告いたします。

本予算は、小学校給食費において、国の支援による5,200円/月を上回る分を公費負担により無償化することや中学校給食費の公費負担を3割にすること、フリースクール等の民間施設利用料の助成、コミュニティ事業費の行政事務交付金の増額、消防団員の環境整備や処遇改善など、評価すべき点が多々ある一方で、会計年度任用職員の割合に改善がされていないことや正規職員との格差についての解消がなされていないこと、更には、市民の生活困窮に寄り添った施策が充分でないことから、本予算中、総務委員会に付託された部分については反対する、との意見がありました。

一方、本予算は、市長の就任から3年の間に世の中で大きく変化する中で、令和8年度は、第5次岡谷市総合計画後期計画の基に、「人結び、夢と希望を紡ぐ、たくましいまち岡谷」を目指し、基本目標として掲げる6つの目標達成を目指して取り組んでいることに評価する。

企画政策部関係では、コミュニティ事業の行政事務交付金の拡充、内外に向けてのシティプロモーションへの新たなサイトの構築や社会のDX化が進展する中で、市民の個人情報管理に細心の注意を払いながら岡谷市の行政サービスに通じる施策となる、市役所のDX化を始めとした各種の事業、また、

総務関係では、粉ミルクなどの備蓄を含めた大規模地震対策事業、教育関係では、川岸学園に関するハード面の整備やチーム岡谷による学びの創成・連携支援、校内教育支援センター設置の拡充や多様な学び利用者支援など、きめ細やかな事業が盛り込まれている。

しかしながら、教育費においては、教育現場や学校現場において限られた予算の中で工夫を重ねながら教育環境の向上に取り組んでいることは理解しながらも、学校施設は子ども達が長い時間を過ごす学びの場であり、安全で安心できる教育環境を整備することが教育行政においては重要であることから、学校施設の整備や環境改善により意を配することを要望するとともに、行政が行なう様々な取り組みの市民への周知をしっかりと行うことを要望し、本予算中、総務委員会に付託された部分について賛成する、との意見がありました。

以上、審査の結果、議案第25号中、総務委員会に審査付託された部分につきましては、賛成多数により可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第32号「令和8年度 岡谷市湊財産区一般会計予算」につきましては、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第37号「岡谷市学童クラブ条例の一部を改正する条例」につきましては、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

報告は、以上であります。